

COACHAでお茶しよう

ぼくらは街を遊牧する
~まがりproject vol.5八峰祭ノマド計画~



私たちは2019年10月26、27日に開催された八峰祭で
ゲルパフォーマンスを行った。

具体的な活動としては

- ・ゲル組み立て、解体パフォーマンス
- ・モンゴルティーの販売
- ・スリーブデコレーションのワークショップ



準備





4月に授業が始まり、ゲルを建てる練習と同時進行でワークショップで何をするかの話し合いが始まりました。

意見の衝突やうまく話し合いが進まないこともあり大変でしたが、最終的にまとまってワークショップも成功しました。



ゲルの組み立て方を学び、スムーズに建てる練習をした。

店名とロゴの作成

最初に「モンゴル茶を売る」というコンセプトを見たとき、店名とロゴに関係性があり、見た人が面白いと感じてくれるようなロゴがいいなと思った。



そこで既存のブランドでありロゴをもじりやすそうな「COACH」と「紅茶」をかける案を思いついた。



モンゴルの「遊牧」のイメージには、COACHのロゴの馬車をそのまま使い、そこにゲルを付け足すことでパツと見たときに、よりモンゴルだとわかりやすくした。紅茶のイメージは、馬車の車の部分をティーカップにすることで表現した。

8月
中旬

消しゴムハンコ作成

飲み物のスリーブをデコレーション
してもらうため、羊やキャラクター
などの消しゴムハンコを作成

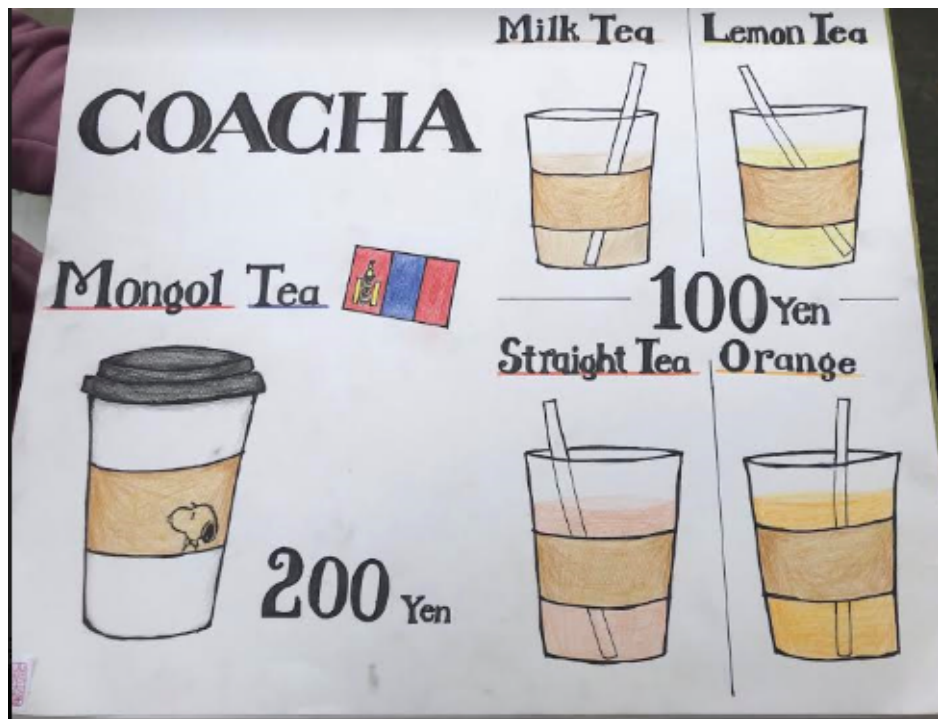




持ち看板



持ち看板作成中の様子



↑メニュー全体

↓見やすいもの



↑メニュー全体



★メニュー全体がわかるものと見やすさがメインのもの2種類を用意した

前売り券の作成

売上を伸ばすために前売り券を作成。





本番当日

(1日目2019/10/26)

看板づくり



- テナントの前に手書きの看板を設置しました。
- 多くの人々の目に止まるようCOACHAとゲルを強調したデザインにしました。

わかるさんのイラストを参考にしました！





ビニールテープで円を描き、目印をつけておく
蛇腹に扉を付けたら、ひもで固定する
天窓に垂木を差しゲルの骨組みが完成
※垂木はゲルの四隅から順番にさしていくことが大事



屋根部の布をかぶせてから側面部の布をかぶせていく、側面部は最後にひもで縛ることで外側を固定する。

ドリンク

今回ドリンクは

- ・ストレートティー
- ・レモンティー
- ・ミルクティー
- ・オレンジジュース
- ・モンゴルティー

を用意した。

モンゴルティーは自宅で試作するなど工夫を重ねた。



ゲルの中でワークショップ



ドリンクを買ってくれた人に、ゲル内で無地のスリーブを自分好みにデザインするワークショップを体験してもらった



子供も楽しそうにハンコを押してくれた

様々な形のハンコを用意



モンゴルティーの販売

おしゃれな看板を立てて販売を開始！

モンゴルティー以外にも、オレンジジュース、レモンティー、ストレートティーなども販売しました



売れるかどうか不安の中、販売開始わずか
で1人目のお客さんが！

予想を上回る売れ行きでした！

2日目(2019/10/27)



ラッピング

- 雨対策として、ビニールでゲルを覆う



スリーブが足りない・・・

- 途中でスリーブが足りなくなり、急遽スリーブを手作り
- 既製のものを真似つつ、限られた材料でなんとか形になった



片付け

午後5時頃 テント、ゲル、机などを
片付けて八峰祭が終了しました。



まとめ

- なかなか出し物が決まらず苦勞することもあったがみんなで協力し成功させることができた。
- 企画を通して、異文化に触れつつ地域の人や偶然立ち寄ってくれた人たちとのコミュニケーションをとることができた。

